

渡邊鏡藏 わたなべのかがみ 經濟學者、法學博士。明治十八年十月十四日大阪生れ、昭和五十五年四月五日歿（八八五—一九〇）。明治四十二年東京帝國大學法科入學政治學科卒。大正五年同大教授、昭和二年辭職して東京商工會議所書記長、翌年日本商工會議所專務理事兼任、十一年衆議院議員、十二年渡邊經濟研究所創設、十九年一茶寮古橋事件で下獄。二十二年東寶映畫株式會社取締役社長に就任し、翌年東寶争議に當る。二十五年東寶を退き、二十七年自由ヤジヤ社を創り、また自由ヤジヤ協會を興へて雑誌『自由世界』を創刊。他に映畫倫理規程委員會會長など。

著書『英國の勞働組合運動』（渡邊鏡藏名、大正十二年九月五日岩波書店）、『朝日會館紀念講演集』（同、合著、大正十五年十一月二十日大阪・朝日新聞社）、『第七十議會解散の是非併而、近時の政黨に關する所感』各方面に聽く』（同、合著、昭和十一年四月四日昭和特別通信社）、『孤獨のたぐひ』（昭和二十四年二月二十日自由ヤジヤ社）、『天皇のあゝる国の憲法』（昭和二十九年七月二十日自由ヤジヤ社）、『自滅の戦ひ』（昭和二十二年九月十日中央公論社）『中公文庫』等。

